



隼人駅東西自由通路



特集 Special edition

自治公民館連絡協議会運営事業

- Q 各地区的自治会加入率と促進策は。
- A 国分47.64%、隼人49.08%など全体的に低下傾向である。4・5月を推進月間とし、チラシ配布や訪問勧誘を実施している。地域コミュニティの維持・活性化に向けて、自治会加入率の向上は重要な課題であり、引き続き加入促進に取り組む。



鳥獣被害対策事業

- Q 高齢化で箱わなの需要が増えている。増設できないか。
- A 地区により過不足があるため調整を進め、不足する場合は新規購入を検討する。



長寿健診事業

- Q 受診率38.34%の県内順位と今後の向上策はどうか。
- A 長寿健診のみで県内6位、人間ドックと合算で県内8位。受診率向上に向けて広報や、医師会を通じた受診勧奨、健康状態不明者への訪問などに取り組んだ。



ひきこもり支援事業

- Q ひきこもり支援員1人で延べ272件の対応ができたのか。
- A 実相談者数は22名で、複数人数で対応している。令和7年度からは職員3名と支援員1名の計4名体制に強化した。



霧島中学校弓道場整備事業

- Q 駐車場整備費は所有者である市が負担すべきだったのではないか。
- A 弓道場の館を優先し予算確保が困難で、学校とPTAの協議により学校林の売却益で対応された。



移住定住促進事業

- Q 移住者のその後の追跡調査は実施しているか。
- A 補助金利用者58世帯163人については把握できている。補助金未利用者は追跡が困難である。



安全灯設置事業・防犯灯LED化事業

- Q 防犯灯LED球交換時の費用は中山間地域の自治会に負担が大きいのではないか。
- A 地域振興補助金の活用を案内している。中山間地域の負担軽減策を検討する。



消防予防業務

- Q 平成23年以降の火災死者25名中20名が65歳以上だが、予防策は。
- A 8割が高齢者で深刻な状況だ。各戸訪問指導の実施を検討し、高齢者世帯への防火指導や住宅用火災警報器の設置確認などを強化する。



各会計の決算額

※1万円未満は四捨五入しています。

会計名	歳入	歳出	差額
一般会計	798億1,808万円	760億4,624万円	37億7,184万円
特別会計	139億7,544万円	139億1,992万円	5,552万円
後期高齢者医療	19億2,873万円	19億2,038万円	835万円
介護保険	119億136万円	115億3,328万円	3億6,808万円
交通災害共済事業	3,691万円	1,144万円	2,547万円
温泉供給	7,467万円	7,085万円	382万円

会計名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	25億842万円	17億5,247万円	10億2,271万円	23億803万円
工業用水道事業	2,755万円	2,462万円	0円	0円
下水道事業	13億9,661万円	11億96万円	11億5,198万円	17億1,659万円
病院事業	79億8,914万円	88億2,163万円	100億3,191万円	102億4,526万円

会議の詳細は、ホームページで公開しています。

委員長
宮田 竜二

令和6年度の事業成果を中心に、総合的かつ丁寧な審査を実施しました。
特に今回の豪雨被害の分析を含め、多角的な視点から活発な議論を重ねました。審査結果を今後の予算編成に的確に反映するよう強く求めました。